

国民体育大会愛知県代表選手の選考について

H29.5.12.

平成29年度からの代表選手選考基準

(1) 1次候補選手(16～21名)

県総体ダブルスベスト8の選手(16名)

春季シングルス大会1位の選手(1名)

国体監督・コーチが推薦する選手(0～4名)…**東海総体最終日まで**に選考し公表する

(2) 国体県予選会にスーパーシード扱い(支部予選免除)にする選手

1次候補選手のうちシングルス大会で選考された選手を除いた選手は、スーパーシードとする。

ただし、① 1次候補選手同士でペアを変更する場合は顧問・選手の了解を得る。

② 1次候補選手以外の選手とペアを変更する場合は支部予選会から参加する。

(3) 2次候補選手(5～8名+ α)

国体県予選会1位の選手(2名)

県総体ダブルス1位の選手(2名)

春季シングルス大会1位の選手(1名)

国体監督・コーチが推薦する選手(0～3名)…**国体県予選会後**に選考し公表する

なお、辞退者および候補選手が重複した場合は、その人数分を監督・コーチが推薦する人数に加える。また、全国高校総体個人戦ベスト16に入った選手(α)、およびこれに準ずる活躍をした規定対象の中学生も2次候補選手に加えることができる。

(4) ミニ国体代表選手および派遣選手(5～8名)

2次候補選手による強化会・県外遠征などを参考に、国体監督・コーチが協議してミニ国体代表選手5名を決定する。したがって、2次候補選手は特別な理由を除いて、強化会・県外遠征には参加するものとする。また、ミニ国体へは補欠選手(0～3名)も含めて派遣する。

(5) 県代表選手の最終決定

2次候補選手による強化会・県外遠征・ミニ国体を参考に、**県体協への代表選考登録締切日まで**に**国体監督・コーチが協議して代表選手5名を決定し公表**する。

国体監督・コーチの選考について

- 1 男女各、監督1名、コーチ2名を置き、国体県代表選手の指導にあたる。
- 2 監督・コーチの任期は2年とし、再任を認める。
- 3 専門部各委員会、支部長、現監督・コーチの推薦により、秋の県役員会で協議のうえ任命する。